

3つの支援とは

5領域すべてを含めて総合的な支援を提供・個別支援計画等において5領域とのつながりを明確化しています。

発達支援

(本人支援・移行支援)

家族支援

地域支援

5領域とは

①他者との関わり(人間関係)の形成
②自己の理解と行動の調整
③仲間づくりと集団への参加

人間関係
社会性

健康
生活

①健康状態の維持・改善
②生活リズムや生活習慣の形成
③基本的な生活スキルの獲得

運動
感覚

①姿勢と運動・動作の向上
②姿勢と運動・動作の補助的手段の活用
③保有する感覚の総合的な活用

言語

コミュニケーション


①言語の形成と活用
②言語の受容及び表出
③コミュニケーションの基礎的能力向上
④コミュニケーション手段の選択と活用


認知
行動

①認知の発達と行動の習得
②空間・時間・数等の概念形成の習得
③対象や外部環境の適切な行動の習得

【具体的な支援プログラム】

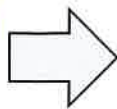
領域・ねらい	支援内容	具体的な活動例
<p>健康生活</p> <p>①健康状態の維持・改善</p> <p>②生活のリズムや生活習慣の形成</p> <p>③基本的な生活スキルの獲得</p>	<p>①健康状態の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康で安全な生活を作り出すことを支援する 利用時の健康状態チェック。また、体調変化の際には適切な対処を行う 意思表示が困難な子どものサインに気づけるようなきめ細やかな観察を行う <p>②健康の増進</p> <ul style="list-style-type: none"> 睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムを身につける支援を行う 個に応じた望ましい食習慣の定着を図ることを支援する 食事に迎える環境及び姿勢の調整、歯磨きの補助などを行う 病気の予防や安全への配慮をする <p>③リハビリテーションの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの子どもに合った身体的、精神的、社会的訓練を行う <p>④基本的な生活スキルの獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の周りを清潔にし、食事や衣類の着脱、排泄等生活に必要な基本的技能の習得に対して個に合わせた支援を行う <p>⑤構造化等により生活環境を整える</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活の中で様々な遊びを通して学習できるよう環境を整える 個に合わせて時間やスケジュール、空間等視覚的にわかりやすく構造化する 	<ul style="list-style-type: none"> 登所時の検温 視診、触診、口頭質問などで体調の変化に気付く 個に応じて食事内容や食具、食器の種類、環境を調整する 必要に応じて良肢位保持を目的としたポジショニングを行う 仕上げ磨き 本人の意思、または定時誘導によるトイレトレーニング 手洗い、うがい、歯磨きを通して気持ち良さを知る 気温や健康状態に応じて衣服の調節をこまめにする 絵カードなどを使用し、一日のスケジュールや日付の確認などをする

領域・ねらい	支援内容	具体的な活動例
<div data-bbox="81 264 295 481" style="text-align: center;">  <p>運動 ② 感覚</p> </div> <p>③姿勢と運動動作の向上</p> <p>④姿勢と運動動作の補助的手段の活用</p> <p>⑤保有する感覚の総合的な活用</p>	<p>③姿勢と運動・動作の基本的技能の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 姿勢保持や上肢、下肢の運動 動作の改善及び習得 筋力の維持、強化 <p>④姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 姿勢保持の各種の運動、動作が困難な場合様々な手段を活用して支援する <p>⑤身体の移動能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常に必要な移動能力の向上のために運動に関する遊び活動を実施していく <p>⑥保有する感覚の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 個の発達段階に配慮した視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう遊びを通して支援する <p>⑦感覚の補助及び代行手段の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 保有する感覚器官を用いて状況を把握しやすくするよう環境配慮、眼鏡や補聴器等を活用できるよう支援する <p>⑧感覚の過敏や鈍麻への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 個の感覚や認知を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の提案及び支援を行う 個に応じて遊びの種類や強度を調整し、「受け入れられるものから」「能動的に」楽しめる遊びと一緒に検討する 遊びの偏りに対して、受け入れがよい遊びから他の遊びへ汎化し遊びの幅を広げていけるように支援する 	<ul style="list-style-type: none"> 天気の良い日は積極的に外へ行くほか、室内でのリズム遊び、運動遊びをする すくい持ちなどの練習をしてスプーンから箸への移行をする <p>○体幹</p> <ul style="list-style-type: none"> プランコ 棒渡り アスレチック ひっぱりすもう すべり台 リズム遊び 階段や斜面の昇り降り、散歩の際に手つなぎをする <ul style="list-style-type: none"> 平坦な道を歩くだけでなく、斜面や階段、特定の屋内施設などで様々な動きを取り入れる <ul style="list-style-type: none"> 粘土、製作（はさみ、のり付け）、新聞紙遊び、シール貼り、絵具遊び、泥土水雪などの自然物に触れ、四季を通して戸外屋外に関わらず五感を使った遊びをする <ul style="list-style-type: none"> 苦手意識が薄れるよう、励ましの言葉を添え達成感を味わえるよう支援する

領域・ねらい	支援内容	具体的な活動例
<div data-bbox="81 208 300 353" style="text-align: center;">  </div> <p data-bbox="92 360 284 421">㉔認知の発達と行動の習得</p> <p data-bbox="92 450 284 539">㉕空間・時間数等の概念形成の習得</p> <p data-bbox="92 568 284 658">㉖対象や外部環境の適切な行動の習得</p>	<p data-bbox="320 197 1050 286">㉔感覚や認知の活用 ・視覚、聴覚を十分活用して、必要な情報を収集し認知機能への発達を促す支援を行う</p> <p data-bbox="320 315 1050 434">㉕知覚から行動への認知過程の発達 ・環境から情報を習得し、必要なメッセージを選択して行動に繋げる一連の認知過程の発達支援を行う ・個に合った環境整備、関わり方に関する支援を行う</p> <p data-bbox="320 463 1050 575">㉖認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 ・物、形、色、音が変化する様子、空間や時間等の概念の形成を図ることで認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援を行う</p> <p data-bbox="320 665 1050 754">㉗数量、大小、色等の習得 ・発達段階に対応した数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための日常生活で具体的な働きかけを行う</p> <p data-bbox="320 784 1050 963">㉘認知の偏りへの対応 ・個の認知の特性を踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援し、認知の偏り等の個性に配慮する。また、こだわりや偏食等に対する支援を行う ・ご家庭へ認知の偏りや特性に関する具体的な支援を提供していく</p> <p data-bbox="320 992 1050 1081">㉙行動障害への予防及び対応 ・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、および適切行動の対応の支援を行う</p>	<p data-bbox="1098 197 1369 293">・スケジュール以外に、絵カードや絵本を通して語彙数を増やしていく</p> <p data-bbox="1098 322 1369 680">・折り紙、絵カード、ぬりえ、スライム、パズルボックス、粘土、型はめ、新聞紙遊び、キャップ繋ぎ、絵合わせパズル、色水遊び、ジョイントチューブ、シャボン玉などを取り組む ・音楽やリズムを使って五感を刺激する活動を行う</p> <p data-bbox="1098 710 1369 777">○平面上、空間内、時間軸を意識した活動</p> <ul data-bbox="1098 784 1369 934" style="list-style-type: none"> ・絵本 ・パズル ・絵合わせパズル ・ナンバータッチ ・動物タッチ

領域・ねらい	支援内容	具体的な活動例
 <p>③言語の形成と活用</p> <p>④言語の受容及び表出</p> <p>⑤コミュニケーションの基礎的能力の向上</p> <p>⑥コミュニケーション手段の選択と活用</p>	<p>①言語の形成と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的な事物や体験と言葉の意味を結び付ける等により、体系的な言語の習得、自発的な発生を促す支援を行う <p>②受容言語と表出言語の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど言語を受容し表出する支援を行う <p>③人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> 個々に配慮された場面での人との相互作用を通して、コミュニケーション能力向上のための支援を行う <p>④指さし、身振り、サイン等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 指さし、身振り、サイン等を用いて環境の理解と意思の伝達ができるよう支援を行う <p>⑤読み書き能力向上のための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 個の障害に応じた読み書きの向上のための支援を行う <p>⑥コミュニケーション機器の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種の文字、記号、絵カード、機器等のコミュニケーション手段を選択活用し環境の理解と意思の伝達が円滑に出来るよう支援を行う <p>⑦手話、点字、音声、文字等のコミュニケーション手段の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 手話、音声、文字、触覚、多様な平易な表現等による多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援を行う 	<p>具体的な活動例</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵本の読み聞かせ 手遊び 畑の手入れ 四季を感じられる活動（お花見、水遊び、落ち葉遊び、雪遊び） 新井田川沿いの散歩 簡潔で分かりやすい言葉を選び、会話の楽しさや正しさを獲得する 絵カードの活用 <ul style="list-style-type: none"> 野菜 動物 食べ物 乗り物 虫 草花 お絵かき ぬりえ
<p>領域・ねらい</p>  <p>③他者との関わり（人間関係）の形成</p> <p>④自己理解と行動の調整</p> <p>⑤仲間づくりと集団への参加</p>	<p>①アタッチメント（愛着行動）の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う <p>②模倣行動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 遊び等を通じて人の動きを模倣することにより社会性や対人関係の芽生えを支援する <p>③感覚運動遊びから象徴遊びへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 感覚機能を使った遊びや運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやつもり遊び、ごっこ遊び等の象徴遊びを通し、徐々に社会性の発達の支援をする <p>④一人遊びから協同遊びへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 周囲に人がいても無関心である一人遊びから並行遊び、大人が介入して行う連動的な遊び、役割分担やルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達の支援を行う <p>⑤自己の理解とコントロールのための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 発達段階に応じた関わり方の提案をし、自分のできること出来ないことなど自分の行動の特徴を理解し気持ちや情動の調整が出来るような支援を行う <p>⑥集団への参加の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団生活に参加できるような支援を行う 	<p>具体的な活動例</p> <ul style="list-style-type: none"> ①個に応じたスキンシップを取り、精神的な安定を図る <ul style="list-style-type: none"> だっこ ・手を繋ぐ 入眠時のトントン リズム遊び（金魚など）・タッチ ごっこ遊び・ままごと 自然物を使ったつもり遊び 集団遊び（鬼ごっこ、だるまさんがころんだ、じゃんけん列車、キャタピラ競争） 集団生活でしか味わえない遊びをすることで、一人遊びでは得られなかったたくさんのことを学ぶ 喧嘩をして人と交わりたくさんぶつかり合いながら楽しく遊べるように考えるようになる

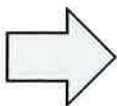
家族支援



家族に対して障害の特性や発達の各段階に応じて子どもの「育ち」や「暮らし」を安定させることを基本に置き、保護者の思いを尊重し、保護者に寄り添いながら丁寧な支援を行っていきます

ねらい	A：支援内容
㉓家族から相談に対する適切な助言やアタッチメント形成（愛着行動）等への支援 ㉔家庭の子育て環境の整備 ㉕関係者・関係機関との連携による支援	㉓子どもに関する情報の提供と定期的な支援調整 ㉔子育て上の課題と聞き取りと必要な助言 ㉕子どもの発達上の課題についての気づきの促しとその後の支援 ㉖子どもを支援する輪を広げるための橋渡し ㉗相談支援員との定期的な支援会議や支援計画の調整 ㉘関係者・関係機関の連携による支援体制の構築 ㉙家族プログラム（個別の面談等）の実施
具体的支援内容	
○子育ての悩みなどに対する相談を行い、様々な家族の負担を軽減していくための家族全体（父母、祖父母、兄弟）の相談援助等の支援を行っていく ○家庭内での療育において「子どもの成長を支える力」を付けられるような支援を行っていく ○支援場面の観察や参加等の機会を提供し、子どもの特性を踏まえた関わり方等に関して相談支援等を行っていく ○保護者の時間を保証するために、子どものケアを一時的に代行する支援を行っていく	

地域支援



障がいのある子どもの地域社会への参加・包容（インクルージョン）を推進するため関係機関との連携を進め、地域の子育て環境や支援体制の構築を図っていきます

ねらい	A：支援内容
㉓地域における連携の核としての役割 ㉔地域の子育て環境の構築 ㉕地域の支援体制の構築	㉓医療機関、保健所、児童相談所等の専門機関との連携 ㉔教育機関の関係者等との連携 ㉕個別のケース検討のための会議への出席 ㉖保育所等の子育て支援機関との連携（例：保育所等訪問支援、巡回相談支援） ㉗(自立支援)協議会等への参加 ㉘児童発達支援センター等に対する理解促進のための地域への積極的な広報活動
具体的支援内容	
○社会生活や経験の範囲が制限されてしまわないように社会経験の幅を広げていく ○他の社会福祉事業や地域において放課後等に行われている多様な学習・体験・交流活動等との連携、ボランティアの受け入れ等により、積極的に地域との交流を図っていく ○移行支援を含め可能な限り教育等の支援を受け入れられるようにしていくと共に、同年代の子どもとの集団の中での仲間作りを図っていく ○ライフステージに添って、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育、就労支援等の関係機関が連携を図り、切れ目のない一貫した支援を提供する体制構築を図っていく ○保育所等訪問支援通して子育て支援機関との連携を図り、地域の子育て環境の構築を促す ○自立支援協議会への参加を通し、相談支援事業者や児童相談所、教育関係などと地域の実情に合わせた形で地域福祉を推進していく ○地域への積極的な広報活動を行い、児童発達支援センター等に理解促進を図る	